

不妊治療補助業務〔予算額 108,619千円〕		保健部健康増進課 母子保健2班(23-6180)
財源内訳	国庫支出金 49,808千円、県支出金 4,500千円、一般財源 54,311千円	
支出内訳	4款1項4目 母子保健費／消耗品費 144千円、印刷製本費 25千円、不妊治療費補助金 108,450千円	

妻の年齢が 43 歳未満（治療開始日の年齢）で保険外診療の人工授精に関する治療（一般不妊治療）と体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）以外の方法では妊娠の見込みがない不妊に悩む戸籍上の夫婦（夫婦の所得の合算が 730 万円未満）に対して、経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成します。



一般不妊治療費助成	特定不妊治療費助成
変更 ◆治療開始時の妻の年齢が43歳未満  自己負担額の 1/2 の額で、年度 上限4万5千円を 2年間助成するこ とは変更なし。	変更 ◆治療開始時の妻の年齢が 43 歳未満で年齢による助成回数上限を設定 ○ 40 歳未満：通算 6 回 ○ 40～42 歳：通算 3 回 ◆初回の治療（一部の治療を除く）に限り、助成額上限 15 万円→ 上限30万円に（治療の終了日が平成28年 1 月20日以降の方から適用） ◆男性不妊治療（一部の治療を除く）に対し上限 15 万円を助成 特定不妊治療に至る過程の一環として実施した手術が対象 （治療の終了日が平成 28 年 1 月 20 日以降の方から適用）

食育推進業務〔予算額 23,006千円〕

保健部健康増進課
食育栄養班(23-6962)

財源内訳 国庫支出金 1,620千円、財産収入 10千円、一般財源 21,376千円

支出内訳 4款1項5目 保健所費／委員報酬 405千円、講師等報償金 25千円、事業協力者報償金 11千円、表彰賞賜金 25千円、消耗品費 2,623千円、食糧費 6千円、印刷製本費 1,739千円、食育普及啓発委託料 600千円、普及啓発物品製作委託料 972千円、食育メッセ事業費負担金 16,600千円

食育メッセ 2016 の開催

100周年記念事業

平成 20 年から 23 年までに開催した食育メッセが規模を拡大し、内容を充実して復活



平成 28 年 7 月 2 日 (土)・3 日 (日)

岡崎中央総合公園体育館ほか

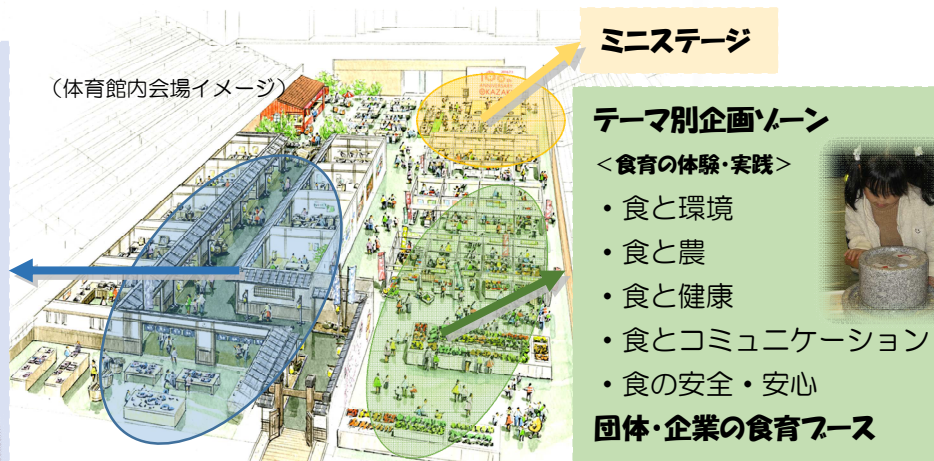
シティプロモーション・岡崎ルネサンスにつながる食育の祭典
第2次岡崎市食育推進計画(平成 24 年度～28 年度)の集大成として実施

岡崎の食文化ゾーン

- ・岡崎宿二十七曲り御馳走屋敷をイメージ
- ・食文化と歴史を学び、郷土料理(菓子)を味わう
- ・いがまんじゅう、煮味噌、味噌田楽、鮎の煮浸し、焼味噌など



(体育館内会場イメージ)



ミニステージ

テーマ別企画ゾーン

<食育の体験・実践>

- ・食と環境
- ・食と農
- ・食と健康
- ・食とコミュニケーション
- ・食の安全・安心

団体・企業の食育ブース

特別講演会(第一錬成道場)

7月3日(日) 13:30～
事前申込み要(抽選)

うまいもの市(正面駐車場ほか)

- ・岡崎のうまいもの
- ・愛知のうまいもの
- ・ゆかりのあるまちのうまいもの

食育推進会議の運営

- ・岡崎市食育推進会議(会長は市長、学識経験者、民間関係団体、市民代表等が委員)を開催し、食育推進計画の策定及び実施を推進します(会議は1回開催)。
- ・専門委員会を開催し、計画の進捗管理、具体的な事業の評価を実施します(会議は2回開催)。

食育の普及啓発

- ・食育キャンペーン
- ・学校給食メニューコンクール
- ・食育ポスターコンクール
- ・食育カレンダーの制作
- ・食育推進ボランティアの育成
- ・食育推進協働企画の実施
- ・おかざき健康・食育だより(まめ吉通信)の発行

拡充

→岡崎市健康づくりサポート施設
【健康づくり情報提供】にも配備



まめ吉

ダメ吉

市斎場整備運営業務〔予算額 2,614,575千円〕		保健部保健総務課 施設整備班(23-6182)
財源内訳	使用料及び手数料 11,061千円、財産収入 54千円、市債 1,477,000千円、一般財源 1,126,460千円	
支出内訳	4款1項6目 火葬場費／消耗品費 626千円、燃料費 17,028千円、食糧費 6千円、庁用器具修繕料 50千円、建物修繕料 50千円、工作物修繕料 250千円、浄化槽検査手数料 16千円、植栽管理委託料 418千円、火葬場施設維持管理費(委託料) 154千円、火葬場運営委託料 3,383千円、火葬場維持管理・運営委託料 124,471千円、テレビ受信料 3千円、有線放送受信料 6千円、火葬炉補修材料費 16千円、施設購入費 2,449,490千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 18,608千円	

平成28年6月 PFI事業による新火葬場の供用を開始します。



■ 事業スケジュール

- ・ 6月 新火葬場供用開始、既存火葬棟などの解体、駐車場整備(～12月)

■ 主な施設概要

- ・ 構造:鉄筋コンクリート造2階建
- ・ 延べ床面積:約5,000㎡
- ・ 火葬炉数:14基(うち動物炉1基)
- ・ 待合室:12室
- ・ 駐車場:普通車 70台、マイクロバス 10台、車椅子
使用者用 5台、動物炉利用者用 3台

予防接種業務〔予算額 1,219,159千円〕		保健部生活衛生課 感染症対策班(23-6714)
財源内訳	県支出金 6,898千円、一般財源 1,212,261千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費／委員報酬 30千円、費用弁償 2千円、特別旅費 55千円、消耗品費 466千円、印刷製本費 1,548千円、賠償補償保険料 730千円、審査支払手数料 61千円、四種混合等予防接種委託料 202,424千円、ポリオ予防接種委託料 3,444千円、麻しん風しん予防接種委託料 87,556千円、日本脳炎予防接種委託料 115,770千円、BCG予防接種委託料 31,791千円、子宮頸がん予防接種委託料 9,835千円、ヒブ予防接種委託料 148,916千円、小児用肺炎球菌予防接種委託料 197,827千円、インフルエンザ予防接種委託料 219,831千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 77,909千円、水痘予防接種委託料 79,426千円、ロタ予防接種委託料 19,863千円、予防接種予診委託料 48千円、通知書封入封緘委託料 3,807千円、住民健康管理システム保守委託料 1,308千円、住民健康管理システム改修委託料 1,158千円、風しん予防対策事業費補助金 3,007千円、予防接種扶助費 3,122千円、予防接種健康被害者対策費 9,225千円	

新規

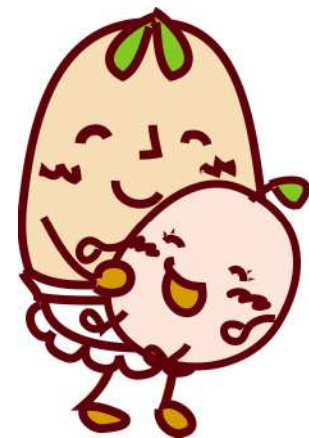
■ ロタワクチン予防接種

ロタウイルス胃腸炎の重症化防止を目的として、ロタワクチン予防接種費用の一部を助成します。

対象者へ接種券を送付。接種券到着後、通知書記載の医療機関で接種。

【接種方法及び対象年齢】

接種方法	対象年齢
ロタリックス(2回接種)	生後6週～24週まで
ロタテック(3回接種)	生後6週～32週まで



【病院事業】地域医療体制の充実〔予算額 1,524,847千円〕(人件費を除く。)		市民病院事務局総務課 経営管理班(66-7015)
財源内訳	一般会計負担金 174,304千円、企業債 323,000千円、国庫補助金 719千円、県補助金 193千円、自己財源 1,026,631千円	
支出内訳	病院事業会計 1款1項6目 研究研修費／謝金 3,696千円、図書費 23,520千円、旅費 36,446千円、研修委託費 6,794千円、研究雑費 15,965千円 1款1項1目 建設改良費／消耗品費 999千円、消耗備品費 16,186千円、委託料 47,985千円、工事請負費 560,252千円 1款1項2目 資産購入費／器械備品購入費 780,064千円 1款2項1目 長期貸付金／看護師等修学資金貸与金 32,940千円	

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院としての医療水準の確保及び多様化高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図ります。また、施設の耐震化にも取り組みます。

本棟再編改修

〔予算額 149,429千円〕

外来機能の高度化を図るため継続事業として進めてきた本棟再編改修事業は、エコーセンター、生理検査部門などの改修を行い、整備を完了します。



医療機器の充実

〔予算額 780,064千円〕

最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に応えていきます。

- (1)検査用 核医学診断装置 始め 82 品目
- (2)手術用 3D 内視鏡システム 始め 20 品目
- (3)その他 高圧蒸気滅菌装置 始め 86 品目

設備更新

〔予算額 372,935千円〕

安定した病院運営を行うため、移転新築後 17 年が経過し、更新時期を迎えた設備を計画的に順次更新していきます。平成 28 年度は第 3 電気室、搬送設備、給排水管の更新工事を行います。

また、今後の維持管理費を削減するため、照明器具の LED 化を進めます。

施設の耐震強化

〔予算額 103,058千円〕

岡崎市の定める大規模空間天井施設の改修推進計画に基づき、市民病院の正面玄関エントランスホール等の天井部分の改修を平成 29 年度までの 2 か年の継続事業で行います。

また、順次進めているエレベーターの耐震化を 5 基について行ないます。

医療スタッフの確保と育成

〔予算額 10,757,288千円〕

（人件費 10,637,927千円、研究研修費86,421千円、修学資金貸与金 32,940千円）

地域住民に高度な医療を提供するための最重要課題は、病院の経営基盤としての「医療スタッフの確保・育成」です。医師・看護師不足は全国的な問題となっていますが、労働環境等の改善と病院自体のステータス向上を図り、人材を確保するとともに、研修・教育環境を整え、将来の地域医療を担う人材の育成に努めます。

人 材 の 確 保

- ・ 医学生に当院の魅力をアピールして研修医の定員を確保し、研修修了後は正規職員として採用する。
- ・ 医師の負担軽減のため、事務作業を補助する医師事務作業補助者を確保する。
- ・ 7対1看護体制を維持するため、看護学生への修学資金貸与制度の充実による看護師確保と離職防止に努める。
- ・ 看護師の病棟での深夜勤務について4人体制を目指して、勤務環境の改善に努める。
- ・ 職場復帰をためらう看護師資格を有する方を対象に、復帰のための講座を開催する。
- ・ 薬剤師や技師の採用試験を病院独自で実施し、優秀な人材の確保に努める。



人 材 の 育 成

- ・ 総合研修センターにおいて、接遇や目的別の研修を計画的に実施していく。
- ・ 医療スタッフが幅広い医療知識等を習得・発表する学会や研修会等に参加させ、スキルアップを図る。
- ・ 先進医療を学ぶため、専攻医などの若い医師を対象に他病院への院外研修を実施する。
- ・ 専門性の高い認定看護師等の育成・確保のため、必要な資格取得・維持について支援していく。
- ・ 看護師個人の能力に合わせたクリニカルラダー研修により、キャリア開発とスキルアップを図る。
- ・ 医療系書籍、雑誌（Web版を含む）の充実を図り、最新医療情報の提供体制を整える。



新規	成年後見センター運営業務 〔予算額 11,150千円〕	福祉部福祉総務課 総務企画班(23-6922)
財源内訳	一般財源 11,150千円	
支出内訳	3款1項1目 社会福祉総務費／成年後見センター事業委託料 11,150千円	

【事業概要】

成年後見制度の普及や相談業務、親族後見人の支援などを行う（仮称）岡崎市成年後見センターを開所します。

【対象】

判断能力が不十分な認知症高齢者や障がいのある方など、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、関係者等

【事業内容】

- ・成年後見制度に関する相談や申立て方法の案内、専門関係機関の紹介など成年後見制度の利用について支援を行います。
- ・親族後見人、家族などに対し講演会や研修会を開催し、制度の普及・啓発など情報発信を行います。
- ・平成28年7月（予定）から、成年後見センターを開所し、相談から支援までの全般的な支援を行います。
- ・将来的には委託先である岡崎市社会福祉協議会が法人後見人になるとともに、市民後見人の育成及び支援を行います。

【開所場所】

岡崎市康生通南3丁目56番地
旧岡崎市保健センター内
岡崎市社会福祉協議会サービスセンター（予定）

**28年7月
開所予定**



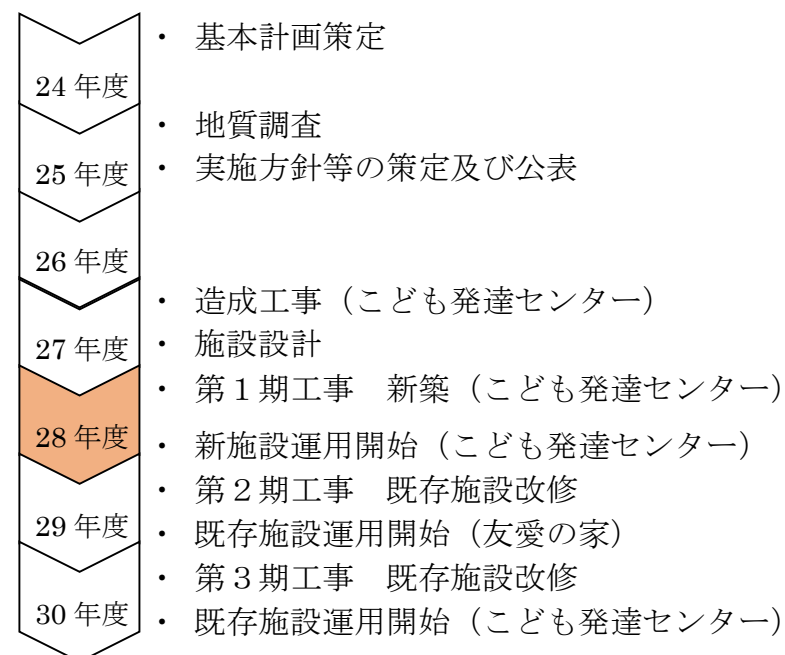
こども発達センター開設準備業務〔予算額 100,157千円〕		福祉部障がい福祉課 企画整備班(23-6566)
財源内訳	一般財源 100,157千円	
支出内訳	3款3項8目 児童福祉施設開設準備費／講師等報償金 87千円、普通旅費 144千円、特別旅費 392千円、消耗品費 32,301千円、燃料費 91千円、食糧費 1千円、印刷製本費 465千円、通信運搬費 1,852千円、廃棄物処理手数料 506千円、自動車リサイクル手数料 74千円、自動車損害保険料 251千円、こども発達センター開所式典委託料 741千円、電子カルテシステム導入委託料 10,388千円、機器賃借料 192千円、施設案内標識板取替工事請負費 12,420千円、庁用器具購入費 22,917千円、自動車購入費 15,064千円、水道分担金 2,090千円、職員研修負担金 125千円、自動車重量税 56千円	

発達に心配のある子に対して発達に関する相談、医療及び療育を総合的に提供する施設「こども発達センター」の平成29年4月の開設に向けて、平成28年度は準備室を設置し準備を進めます。



平成29年3月 **完成予定**

◆事業スケジュール◆



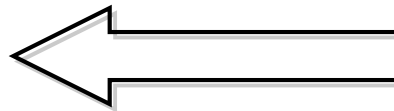
在宅高齢者通報システム運用管理業務〔予算額 6,818千円〕		福祉部長寿課 地域支援班(23-6147)
財源内訳	一般財源 6,818千円	
支出内訳	3款2項2目 老人福祉費／システム運用委託料 6,818千円	

事業内容

電話回線をお持ちのひとり暮らし等高齢者の自宅に緊急通報装置を取り付けます。
緊急ボタンを押すと、24時間体制のコールセンターにつながり、そこから親族や隣人などの緊急連絡先へ連絡がいきます。
また、同時に救急車の手配も行い、速やかに救護を行います。



通報をするとコールセンターにつながります



対象者

65歳以上のひとり暮らし高齢者※で電話回線をお持ちで、次の①②のいずれかに該当するかた

拡充

※（平成28年度から同じ敷地や隣に住んでいる親族が75歳以上のみの場合も対象とします。）

- ①心疾患等による発作が過去にあるかた
- ②体幹・下肢・神経疾患等により、転倒時自力で助けを呼ぶことが困難と思われるかた

地域包括支援センター支援業務〔予算額 373,719千円〕		福祉部長寿課 地域包括ケア推進班(23-6774)
財源内訳	保険料 77,635千円、国庫支出金 145,750千円、県支出金 72,874千円、繰入金 77,460千円	
支出内訳	介護保険特別会計 3款2項1目 包括的支援事業等諸費／消耗品費 27千円、印刷製本費 486千円、通信運搬費 2,114千円、 地域支援事業委託料 356,650千円、包括支援システム導入委託料 7,452千円、包括支援システム開発委託料 2,629千円、 包括支援システム賃借料 4,361千円	

拡充

高齢者の増加に対応するため、平成28年7月から

地域包括支援センターを7か所増設します。 **14か所 ➡ 21か所**



おたがい様

<総合相談>

高齢者・ご家族の介護や生活の相談に応じています。

<ネットワーク・地域づくり>

地域と医療・介護・福祉の連携や地域づくりを進めています。

<介護保険制度>

制度の紹介、介護保険の代行申請、要支援者のケアプラン作成、その他相談に応じています。

<権利を守る>

成年後見制度の利用支援や高齢者虐待・消費者被害の防止、認知症の見守り支援等をしています。



いきがい君



やりがいちゃん

認知症施策推進業務〔予算額 14,215千円〕		福祉部長寿課 予防班(23-6836)
財源内訳	保険料 2,953千円、国庫支出金 5,544千円、県支出金 2,772千円、繰入金 2,946千円	
支出内訳	介護保険特別会計 3款2項1目 包括的支援事業等諸費／費用弁償 121千円、印刷製本費 87千円、認知症地域支援推進委託料 8,400千円、認知症初期集中支援委託料 4,821千円、認知症カフェ運営費補助金 400千円、認知症施策推進研修負担金 386千円	

認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員

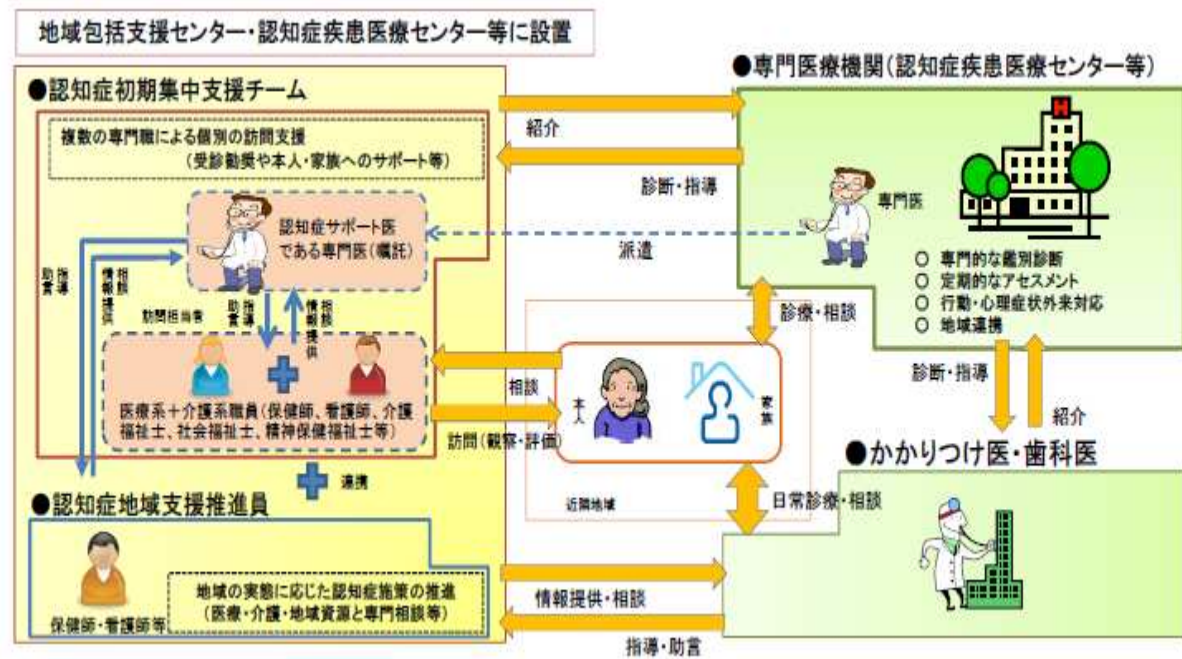
○認知症初期集中支援チーム

新たな取組

複数の専門職が認知症が疑われる人、認知症の人とその家族を訪問（アウトリーチ）して、観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

○認知症地域支援推進員

認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。



認知症カフェ運営費補助金

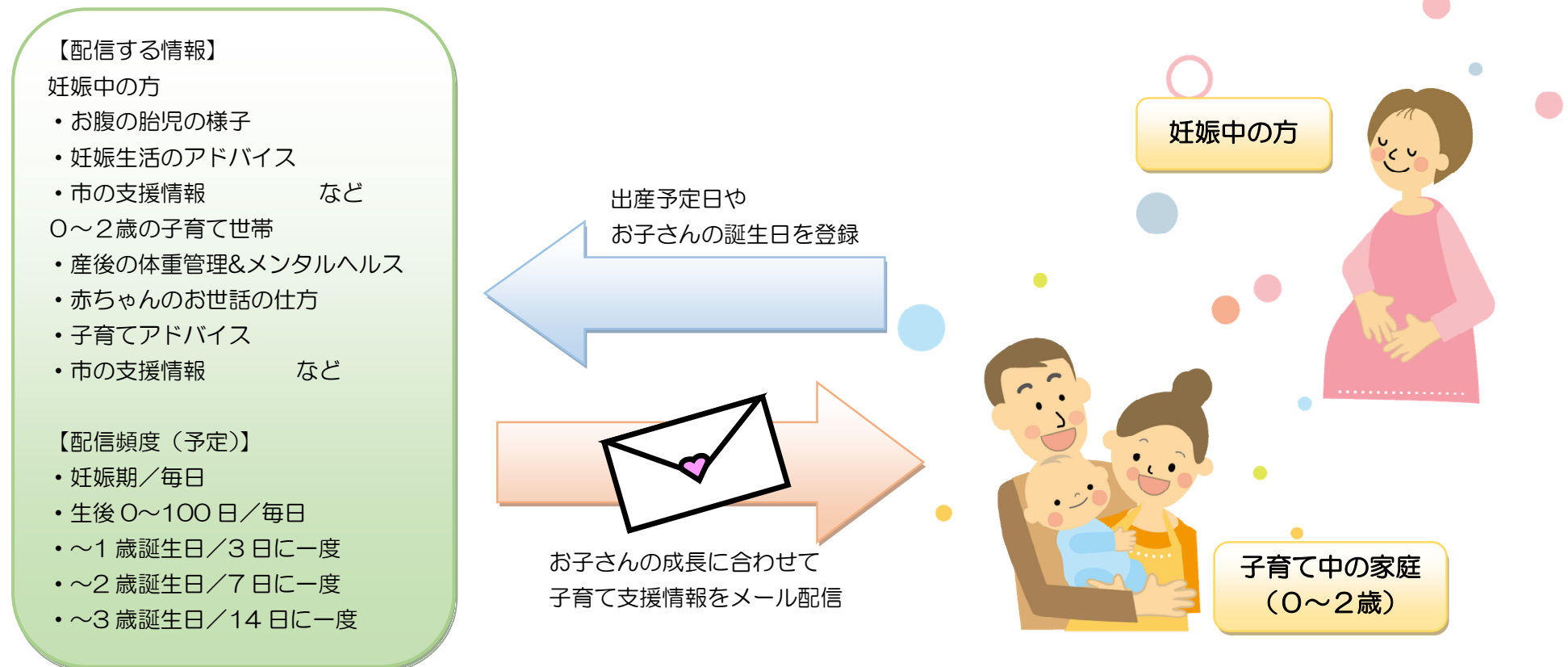
認知症の本人及び家族の居場所づくり、情報交換を目的とした支援拠点「認知症カフェ」の設置に対し補助します。

補助要件	補助率	上 限
1 回 2 時間程度年 4 回以上 専門職員を配置	1/2	20,000 円

新規	子育て支援情報発信業務 〔予算額 2,338千円〕	こども部こども育成課 施策班(23-6820)
財源内訳	一般財源 2,338千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費／印刷製本費 107千円、通信運搬費 1,556千円、情報配信システム導入委託料 675千円	

【事業概要】

子育ての負担感や不安を軽減し、安心して子育てに向き合える環境を整えるため、電子メールを活用した妊娠、出産、子育てについての情報配信を行います。お子さんの成長に合わせて必要な情報を届けます。



新規	子育て支援ネットワーク推進業務〔予算額 269千円〕	こども部こども育成課 施策班(23-6820)
財源内訳	一般財源 269千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費／消耗品費 69千円、協働推進事業委託料 200千円	

【事業概要】

- ・市内で子育て支援を行うNPOや市民活動団体の情報を集め、子育て世帯に向けて情報発信を行います。
- ・子育て支援団体相互のネットワークを構築し、地域社会全体で子育て世帯を支える環境の整備を進めます。

◆情報収集・情報提供

子育て支援団体の情報を集め、親子の集まる場での掲出や、ホームページへの掲載などにより、子育て世帯に届けます。



◆ネットワーク構築

研修会など子育て支援団体の交流の場を設け、子育て支援団体のネットワークの構築を進めます。



児童育成センター整備事業〔予算額 143,234千円〕		こども部こども育成課 こども育成班(23-6330)
財源内訳	使用料及び手数料 2,662千円、国庫支出金 23,604千円、県支出金 9,295千円、市債 66,000千円、一般財源 41,673千円	
支出内訳	3款3項5目 放課後児童健全育成費／消耗品費 6,345千円、医薬材料費 105千円、通信設備架設料 66千円、看板製作委託料 162千円、 地質調査委託料 324千円、建物賃借料 7,986千円、施設整備工事請負費 126,188千円、庁用器具購入費 1,248千円、機械器具購入費 810千円	

【事業概要】

保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生の放課後等を、安全・安心に過ごすことができる居場所を確保するため、待機児童の状況などを踏まえた計画的な児童育成センターの整備を進めます。

- 豊富学区では、老朽化した児童育成センターの改築に併せ、学区こどもの家の機能を備えた複合施設を建設します。
- 待機児童が多く生じると予想される学区に児童育成センターを増設します。
(梅園・岡崎・竜美丘・矢作南学区)



新規	高等学校卒業程度認定試験合格支援業務 〔予算額 300千円〕	こども部家庭児童課 母子父子支援班(23-6749)
財源内訳	国庫支出金 225千円、一般財源 75千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費／高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 300千円	

ひとり親家庭の親及び子どもの学び直しを支援することにより、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていくため、ひとり親家庭の親及び子が高等学校卒業程度認定試験合格のための講座（通信講座を含む）を受講する場合に、その費用の一部を支給します。

【対象者】

ひとり親家庭の親及び子どもであって、次の要件の全てを満たす者

- ・児童扶養手当の支給を受けている者又は同等の所得水準にある者
- ・就業経験、技能、資格の取得状況等から判断して、高等学校卒業程度認定試験に合格することが適職に就くために必要と認められる者

【支給内容】

- ・受講修了時給付金： 受講費用の2割（上限10万円）
 - ・合格時給付金： 受講費用の4割（受講修了時給付金とあわせて上限15万円）
- ※受講修了日から起算して2年以内に高等学校卒業程度認定試験の全科目に合格した場合に支給



保育園園庭芝生化業務〔予算額 1,371千円〕		こども部保育課 総務施設班(23-6175)
財源内訳	一般財源 1,371千円	
支出内訳	3款3項3目 保育園費／消耗品費 366千円、散水栓設置工事請負費 1,005千円	

【業務概要】

園庭の安全性、快適性を向上させるため、園庭の一部を芝生化します。

【実施園】

細川保育園（56 m²）、六ツ美中保育園（44 m²）

【芝生化の実績】

平成 25 年度 奈良井保育園（70 m²）

平成 26 年度 本宿保育園 （50 m²）



園児と園職員による芝生植付け



園職員による維持管理



山中保育園園舎建替業務〔予算額 113,731千円〕		こども部保育課 総務施設班(23-6175)
財源内訳	市債 65,000千円、一般財源 48,731千円	
支出内訳	3款3項3目 保育園費／消耗品費 344千円、庁用器具修繕料 300千円、工作物修繕料 1,302千円、駐車場整理委託料 597千円、自動車借上料 260千円、施設整備工事請負費 6,387千円、機械器具購入費 396千円 3款3項7目 保育園建設費／通信運搬費 498千円、通信設備架設料 297千円、家屋調査委託料 5,444千円、廃棄物処理委託料 486千円、建物賃借料 6,956千円、園舎改築工事請負費 90,464千円	

【山中保育園の概要】

昭和 47 年 4 月 1 日 現在地に移転新築

昭和 50 年 4 月 1 日 延長保育開始

定員 140 名

園児数 120 名（平成 27 年 4 月 1 日現在）

【業務概要】

安全で快適な環境で保育を行うために、
老朽化が著しい山中保育園の整備を進めます。

【事業スケジュール】

平成 26 年度 道路等測量設計

平成 27 年度 新園舎実施設計、道路拡幅工事

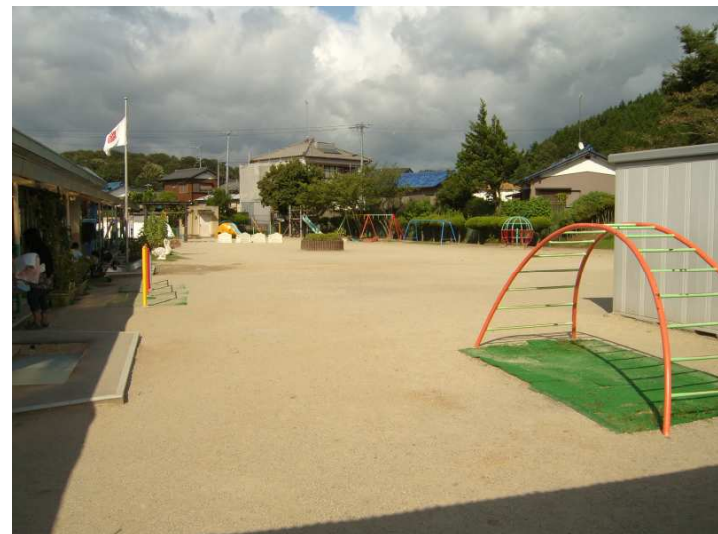
平成 28～29 年度 園舎建替工事

【新園舎の概要】

敷地面積 4,818 ㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造 一部木造 2 階建

延床面積 約 1,390 ㎡



私立保育園園舎建替支援業務〔予算額 8,633千円〕

こども部保育課
管理班(23-6832)

財源内訳 国庫支出金 2,372千円、一般財源 6,261千円

支出内訳 3款3項2目 児童措置費／私立保育園施設耐久年数調査委託料 3,888千円、私立保育園園舎建替等事業費補助金 4,745千円

【業務概要】

私立保育園の健全な運営と、園児の保育環境向上を図るために、園舎整備補助と建物耐久年数調査を行います。

◆私立保育園施設耐久年数調査

○私立保育園（八十塚、明德、白鳩、六名、秦梨、るんびに一）

計画概要・・・園舎の長寿命化を進めます。

- 平成28年度（6園分） ・ 建築士による建物等調査実施（①屋根 ②外壁 ③便所 ④設備等）
・ 調査結果を元に長寿命化の工事計画案・資金計画の作成



◆私立保育園園舎建替等事業費補助

○美合保育園

計画概要・・・園舎の一部増改築に係る建設費に対して補助します。

平成28年度 実施設計、地質調査等
平成29年度 園舎一部増改築工事

園舎の概要

	旧	新
定 員	200名	230名
敷地面積	2,178㎡	2,178㎡
建物構造	木造平屋建	鉄骨造2階建
延床面積	1,192㎡	1,642㎡



生活保護施設整備事業補助業務〔予算額 119,150千円〕		福祉部生活福祉課 総務施策班(23-6864)
財源内訳	国庫支出金 79,433千円、一般財源 39,717千円	
支出内訳	3款4項1目 生活保護総務費／生活保護施設整備事業費補助金 119,150千円	

【事業概要】

社会福祉法人が運営する生活保護受給者に技能取得と就労機会の提供を実施する「授産施設」の建替え整備に係る経費の一部を助成し、施設利用者の福祉の向上を図ります。

【施設概要】

○授産施設(定員50名) 建設予定地:舞木町字小井沢、構造:鉄骨造2階建、延床面積:約621㎡

